



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和4年度第12号

令和4年12月2日

文責：校長 西田 英実

桜咲き誇る地域に いわき万本桜プロジェクト

この地域を桜の花でいっぱいにしようという「いわき万本桜プロジェクト」。今年も春には2年生が除草作業などをしました。11月18日（金）には、1年生が桜の苗木を植えました。当日は、ジャンボタクシーで移動。天候にも恵まれ、絶好の作業日和でした。

プロジェクトのリーダーである志賀さんの指導を受けながら、作業を進めました。もともと山地だったところを開拓しながらの土地です。場所によっては、大きな石や木の根に阻まれ、穴を掘るのも大変です。班で相談して場所をずらして掘る場合もありました。

1年生は15本の桜の苗木を植えました。やがて満開となり、自分たちも含め地域の人々を和ませる日が待ち遠しいです。



オーケストラの生演奏を楽しみました

11月30日（水）、震災復興支援から始まった東京都交響楽団による「ボクとわたしとオーケストラ」演奏を全校生で楽しみました。コロナ禍のため3年ぶりの開催でしたが、本校も参加する機会をいただき、一流の美しく迫力ある演奏を楽しみました。都響の皆さん、関係者の皆様に感謝申し上げます。演奏会の様子はFMいわきでも放送される予定です。



保健体育 武道は「空手道」に挑戦

現在の学習指導要領では保健体育で日本古来の伝統である「武道」に取り組むことになっています。礼儀作法や心構え、理にかなった身体の動かし方などを学ぶことができます。本校では「空手道」を取り入れています。

ここ3年間は地域の空手道指導者である佐藤先生にお世話になっています。佐藤先生は福島県を代表する指導者で、国体の福島県監督などを歴任されています。かれこれ50年以上、空手道を続けておられるそうです。そのような素晴らしい先生から直接指導を受ける機会をいただき、ありがたく思います。

授業では、1年生、2年生、3年生と段階を追って基礎から発展的な内容へと学んでいます。2、3年生は、これまでの復習をしながら新たな内容を学んでいます。佐藤先生も生徒が年々成長していく姿を見るのが楽しみだそうです。よろしくをお願いします。



心の授業を行っています

11月21日（月）から、予防的心理教育プログラム（こころの授業）を行っています。心の健康について、生徒自身が問題に対処する能力（課題対応能力）や心身の健康を増進する能力（自己理解・自己管理能力）を育て、人間としての成長を促すものです。

3年生は、「考えの幅を広げる」をテーマに行いました。例えばLINEの既読がついても返信が返ってこないという場面を想定し、このとき「考えていること」と「思ったこと、感情」について客観的にとらえ、対処する方法を学びました。次に、考え方には個人個人の特徴、くせがあることを自己分析から理解し、お互いに違いがあることを前提にすべきである、と実感していました。



いわき市PTA研究大会が開催されました

11月19日(土)、いわき市PTA研究大会が、いわき市文化センターにおいて久々の参集方式で行われました。感染対策のため、各校2名、本校からは金賀PTA会長と校長が参加致しました。

大会では、大会会長やご来賓の方々からの挨拶があり、次世代を担う子ども達の健やかな成長へ向けてPTA活動を進めていくことを確かめ合いました。また、これまで各学校のPTA活動に貢献いただいた役員の方々へ感謝状が贈呈されました。

後半は、講演を全員で聴講しました。大量かつ、科学的なデータをもとにした講話でした。おもな内容を紹介します。

講演者 東北大学教授 川島 隆太 氏

講演テーマ 「子どもの才能を伸ばす秘密」

“コロナ禍の今だからこそ、いわき子ども達、親たちに伝えたい最先端の脳トレーニング”

～脳に大切な刺激と脳科学、子どもの脳を育てる方法とは～

1 「緊急避難基地」について

親子のふれあい、親子の愛情関係が形成されることにより、親子の愛着形成が進み、「緊急避難基地」(安全基地)が形成される。緊急避難基地をもつ子どもは、様々なストレスに強い。例えば、幼いときには家庭でわがママがきくが、社会へ出ればそうはいかない。幼稚園や保育所(小さな社会デビュー)に行けば、自分の思うようにならないストレスが生じる。でも、心に緊急避難基地をもっている子どもはそのストレスに耐えることができ、新たなことに挑戦することもできる。やがて親から自立していくことができる。

2 「緊急避難基地」を形成するには？

親子が一緒に何かをする、ということがとても大切。例えば、一緒に散歩をする→同じ景色を見て感動する、会話をするといった何気ないことが大切。いくら公園へ行っても親はスマホ、子どもはゲームでは効果はない。

3 学力向上に結びつくのは？

家庭のコミュニケーションがある家庭、朝ご飯をしっかり食べることが多い家庭の子どもは学力は伸びる。(何のために学ぶのかという目的意識、自主的な学習習慣の大切さは昨年度の講演でもお話し済み)

4 リモートコミュニケーションのわな

- Webでの会話 → 情報伝達はできるが、心のシンクロは不可。安静時と一緒に、脳は働かない
- 対面での会話 → 相手に対する同調、共感の力が働く。親と子ども、教師と生徒でも心と心のふれあいが大切。

5 共感するテクニック

対面でのコミュニケーション、リズムの活用(例:かつて流行したディスコ、盆踊り、、、)、同じ身体運動(ラジオ体操)、相手の身体の動きを模倣する(これは発達上の障がいをもった子どもには特に有効)

6 「読み聞かせ」の効果について

親は、子どもに考える力を付けさせようと意図しているかもしれないが、実は、、、

- ① 子どもの脳の中では → 思考より心の脳(感情)が働いている。もちろん、想像力が育ち、語彙が増え、聞いて理解する力が向上する。親子の絆が深まる。→ 子どもの問題行動も減少していく。親も子を理解しようとしている。

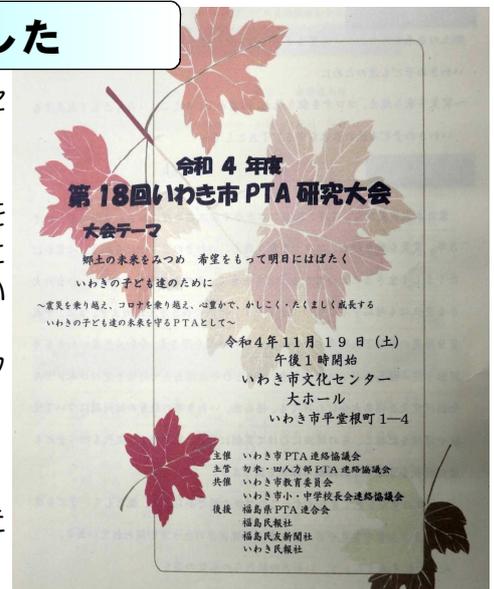
- ② これらの結果、親の子育てストレスが減るという効果が生まれる。

7 「読み聞かせ」から「読書習慣」へ

実験によれば、「新たな発想」を生み出す創造力を働かせている時の脳の働きと、読書中の脳の働きは同じ!

- ◎ 読書習慣がある子ども → 学力が上がる
- 読書習慣がない子ども → どんなに学習時間を長くとってもがんばっても学力は高くない。

ぜひ、子どものときから読書習慣を身に付けさせてほしい。



<今後の予定>

日	曜	おもな行事
5	月	全校三者相談、部活あり、ICT支援員
6	火	卒業アルバム写真撮影、部活なし、放課後学習会
7	水	SC出役
8	木	学校司書出役、放課後学習会
9	金	ファイナンスパーク2年、学校司書出役
12	月	12/5、ALT訪問、ICT支援員
13	火	放課後学習会
14	水	
15	木	学校司書出役、放課後学習会
16	金	学校司書出役